

大人のためのジャズピアノ入門講座

バックギング編

大人のためのジャズピアノ入門講座

バックギング編

1	はじめに.....	2
2	左手について.....	3
2.1	コードの種類.....	3
2.2	コードの特徴を決めるもの.....	4
2.3	コードの特徴を使ってまとめる.....	5
2.3.1	トニック・メジャーコード.....	5
2.3.2	マイナーコード.....	6
2.3.3	マイナー7th (b5)コード.....	7
2.3.4	ドミナント7thコード.....	8
2.4	左手の音域について.....	9
2.5	コード毎の構成音.....	10
2.5.1	メジャーコード(マイナーコード).....	10
2.5.2	ドミナント7thコード.....	12
2.6	左手のまとめ.....	13
2.7	レッスン.....	14
3	右手について.....	15
3.1	メジャーコード.....	15
3.2	マイナーコード.....	16
3.3	ドミナント7th.....	17
3.3.1	リディアン7thスケール.....	17
3.3.2	コンビネーション オブ デミニッツィスケール.....	18
3.3.3	オルタードスケール.....	19
3.4	ドミナント7thのまとめ.....	20
3.5	右手のまとめ.....	21
3.6	レッスン.....	22
4	リズム.....	23
4.1	スウイング.....	23
4.2	リズムパターン.....	24
5	さいごに.....	26

1 はじめに

ジャズは難しいというイメージが大変強く、今まで挫折される方を沢山みてきました。
理由を聞くと大きく3つ。

- ① コードが多くて覚えられない
- ② リズムが難しい
- ③ アドリブで何を弾いて良いか分からない

このバックギング編ではコードが覚えられないという方を対象に、いかに簡単に
たくさんのコードをマスターできるかを目的としています。

ジャズではコードとメロディーのみ書かれたリードシートという楽譜だけで
演奏されることも、しばしばあります。もちろん初見での演奏もよくある光景です。
コードを見るだけで和音が弾けるということは、コードを見た瞬間に
指の形と押さえる鍵盤を把握している必要があるのです。

こういう風に説明するととても難しいことのように感じるかもしれません。

ですが、クラシックピアノでも同じで、初見の楽譜はさすがに難しいかもしれませんが、
何度も繰り返して弾いていくうちに音符の形を漠然と見るだけで指の形を体が覚えていて、
簡単に弾けるようになってきていると思います。実はコードも同じなのです。

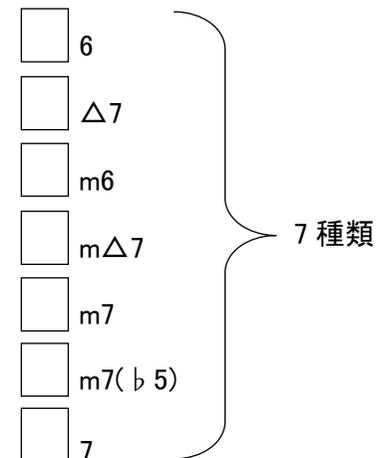
最初は構成音が何なのか分からなく、一音一音確認しながら演奏するしかないのですが、
何度も練習するうちに体が覚えていくようになります。

ですが、ジャズではテンションと呼ばれるコードにかかれていない音を使ったり、
コードの種類もポップスやロックに比べて沢山あるため、
指の形がたくさんありすぎて覚えられないと感じる方も多いようです。

そこで、このバックギング編ではとにかく「覚える指の形を最小限」にとどめることによって、
数多くのスタンダードを早く習得していただけるように、その方法を紹介していきます。

2 左手について

2.1 コードの種類



スタンダードといわれる曲の大部分が上に示したコードで対応できます。
但し、他にも dim、aug、sus4 コードもありますが、スタンダードのコードのうち
90%以上は上記の7種類といえます。

そこで、ルート(基音)が12種類(つまり、C、C#、D、D#、…、B)あるので単純に掛け算すると、
なんと84種類のコードが存在することになります。

さて、ここで84種類の指の形を覚えることが出来るでしょうか？
初心者にとって、無理な話だと思います。

そうなのです。実はこれが初心者の挫折しやすい理由の一つなのです。

このテキストでは、この84種類の指の形をたったの18種類の指の形にまとめる
方法を紹介します。

18個なら覚えられそうな気がしてきませんか？

Point !

覚える指の形の種類は最小限に